

令和三年度 入学式

式辞

春の暖かさを感じられる今日の良き日に、晴れて入学式を迎えられました第七十五期生 百二十六名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

そして、中学校の制服に身を包み、成長した我が子の姿を、まのあたりにされた保護者の皆様方におかれましては、感慨もひとしおのことと思います。本日は誠におめでとうございます。

新入生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症が、未だ収束されておらず、感染拡大防止のため、大阪市立のすべての学校園が、来賓・地域の皆様方の参加のない中での『入学式』となりました。しかし、新入生の皆さんには、こんな時だからこそ、みんなで力を合わせて、この難局を乗り越えていこうという強い気持ちを持って、中学生としてのスタートを切ってもらいたいと思っています。

さて、新入生の皆さんは、今日から七十二年の歴史と伝統のある北稜中学校の一員となります。中学生としての自覚と誇りを持って、これからの三年間、しっかりと頑張ってもらいたいと思います。入学にあたり、勉強や部活動など、不安に思っていることもたくさんあると思いますが、まったく心配する必要はありません。今日の式に出席してくれている生徒会役員をはじめ、君たちの先輩が、優しく出迎えてくれると思いますので、安心して学校へ登校してください。

本日、保護者の皆様方に配付しましたプリント類の中に、『スマホと私たちの未来』という生徒会が発行した新聞が入っていると思います。大阪市教育委員会と大阪市中学校教育研究会が主催する『大阪市スマホサミット』に参加した中学校を代表して、北稜中学校の生徒会が作成し第1号の新聞で、先日、大阪市の全小中学校 四二〇校に配付されました。北稜中学校では、自分たちの学校を自分たちの力で良くしていこうという自治活動を大切に、さらに全市のリーダー的な役割も果たしてきています。

また、同じく本日配付しました北区の広報誌『わがまち北区』には、北区役所と連携して、企業一〇社より講師先生をお招きして今年の二月に行った「職業出前授業(職業講話)」の取組が紹介されています。広報誌一面には、その時の生徒たちの様子が掲載されています。生徒たちの表情からも、本校のほんわかとした雰囲気を感じていただけたと思います。新入生の皆さんもお家に帰って、ぜひ、見ておいてください。

新入生の皆さん一人ひとりが持つ「秘められた力」を、発揮できる場として、北稜中学校には8つの運動部と、6つの文化部があります。部活動の良さは、違う学年の先輩や後輩と、スポーツや文化的な取組を通じてつながれるということです。また、技能や能力を伸ばすだけでなく、部活動を通して「礼儀」や「マナー」が学べることなど、将来の君たちにとって素晴らしい財産になると思います。ぜひとも、中学校では、何か打ち込めるものを見つけて、人間としてさらに大きく成長してほしいと願っています。

次に新入生の皆さんに実行してもらいたいことを一点お話します。基本的な生活習慣を、きちんと身に付けておくことです。例えば、常に時間を守るよう心がけてほしいと思います。北稜中学校では『ノーチャイム週間』という取組が、毎月行われています。『ノーチャイム週間』の時には、学校ではチャイムが鳴りませんが、君たちの先輩は、教室や運動場、時には造幣局の建物にある時計を見ながら、チャイムがなくても問題なく行動できています。今、お話したことは、ほんの一例ですが、学校のルールやマナーを守ること、また、気持ちの良い挨拶が交わされることなど、当たり前のことが、当たり前に見えることは、とても大切なことだと考えています。

私は本校に校長として着任し、二年間、君たちの先輩の姿を見てきましたが、生活面にしても、学習面にしても、学校行事の取組にしても、部活動にしても、あらゆる面で褒めることがたくさんありました。私は、本当に嬉しく思いましたし、北稜中学校のことを誇りに感じています。これからの中学校生活の中で、君たちの先輩が、良い見本をたくさん示してくれると思います。北稜中学校で過ごす三年間で、『社会で通用する素晴らしい人』に育ってもらいたいと、心より願っています。

結びになりましたが、本日、入学された皆さん、保護者の皆様。北稜中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆様・地域の方々にご協力をいただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものとなるよう、また、地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和三年四月五日

大阪市立北稜中学校 校長 山咲進一